

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 24 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 作成

事務事業名	ごみ収集許可事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	市民部	課長名	松永 公明
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	高岡 英之
	基本事業	23	廃棄物の適正処理			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
					法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	10
	1	4	2	1	67			コスト削減優先度評価結果	6.-6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 事業所から排出される一般廃棄物の収集を行う事業者に収集運搬の許可を出す									
【業務の流れ】 新規(更新・変更)申請受付、器材検査、車両検査、許可証交付、検査手数料の納付書作成									
【主な予算費目】 役務費									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)

新規(更新・変更)申請受付、器材検査、車両検査、許可証交付、検査手数料の納付書作成を行った

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)

20年度に同じ

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)

→ ア 許可業者数 件

イ

→ イ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)

→ ア 事業所件数 件

イ

→ イ

⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)

→ ア 事業系一般廃棄物の排出量 t

イ

→ イ

⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)

→ ア 不法投棄発生件数 件

→ イ 廃棄物の適正処理に関する苦情処理件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円								(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円		20	20	0	0	20		
	(A) 事業費計	千円	0	20	20	0	0	0	20	0	
		うち指定経費	千円								
		うち時間外・特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	120	120	140	128	140	140	140	
		(B)人件費計	千円	476	478	557	509	557	557	557	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	476	498	577	509	557	577	557	
活動指標			ア 件	23	25	25	22	25	25	25	目標合計値画 22年
対象指標			ア 件	323	325	325	325	325	325	325	
成果指標			ア t	2111	1824	2200	2200	2200	2200	2200	
上位成果指標			ア 件	50	35	30	29	30	30	30	
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			イ 件	29	36	40	44	40	40	40	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で一般廃棄物の処理については、自治体の責務となっているが、旧町から直営が困難だったことから、許可をとった業者が収集運搬するため開始した

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

市内の事業所は増加している

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特になし

事務事業名	ごみ収集許可事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

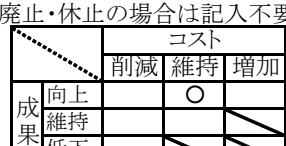
2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性  この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかないか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 →法律に則った許可事業である。
	②公共関与の妥当性  なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 →法律に則った許可事業である。
	③対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 →合志市内において事業系の一般廃棄物を収集しようとする業者のみが対象なので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 →事業所に分別を徹底させることによりごみの量をさらに抑制できる。
	⑤廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 →21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 →事業系の一般廃棄物の収集ができない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 →類似事業なし。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 →人件費のみである。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 →許可業務であるので正規職員以外では難しい。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっていないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 →ごみ収集を行う業者は許可の申請を行うことが出来るので公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性については、事業所に分別を徹底させることによりごみの量をさらに抑制できるなど見直し余地あり。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業所に分別の指導を行う。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) 
--	--

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

21年10月から、行政施設・学校施設から排出されてるごみも事業系扱いとなるため、ごみ排出量は増加する。  
更に分別の指導を強化する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	6	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2)貢献度	6	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )

合志市